

利用案内

開館時間

★3月～10月  
午前9:30～午後5:00 (入館は4:30まで)  
★11月～2月  
午前9:30～午後4:30 (入館は4:00まで)

観覧料

	自然史博物館 常設展示	花と緑と自然の 情報センター
大人	300円	無料 ※ネイチャーホールは イベントにより有料
高校生 大学生	200円	
大阪市内 在住の 65歳以上の方	無料 ※ 証明書要提示	
中学生以下	無料	
障がい者	無料 (介助者1名無料) ※ 証明書要提示	

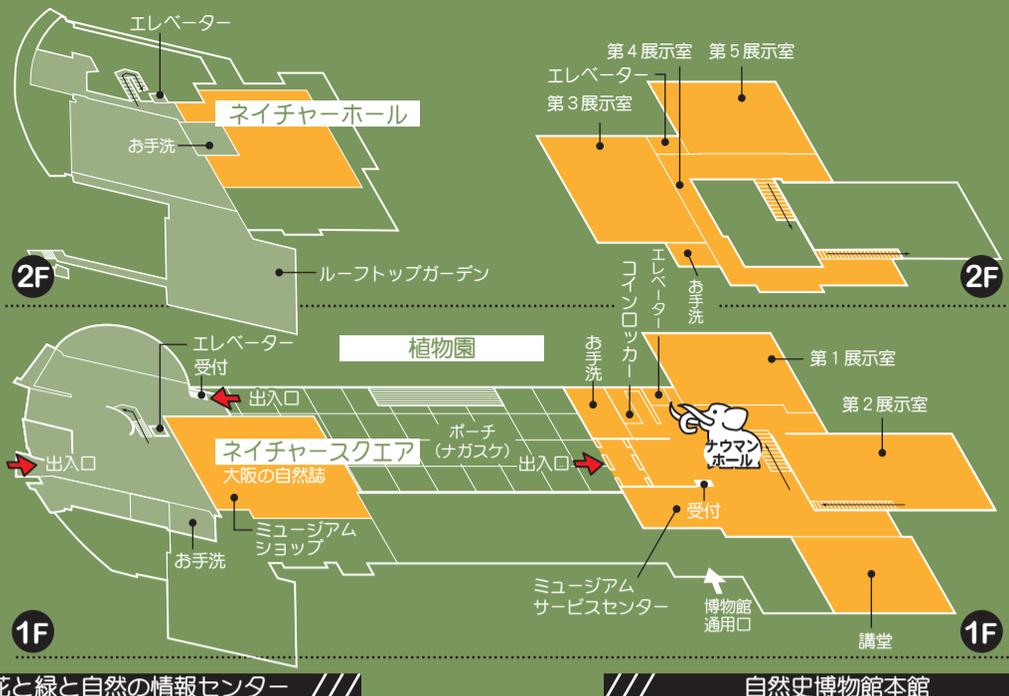
団体割引もあります(30人以上)

休館日

毎週月曜(月曜が休日の場合はその翌平日)  
年末年始(12月28日～1月4日)

※館内での飲食喫煙は禁止です。飲食は指定の  
場所をお願いします。

※写真撮影は自由になっていただけます。ただし  
個人での使用に限ります。



花と緑と自然の情報センター

自然史博物館本館



自然史博物館への入館は…①長居公園正門から  
②花と緑と自然の情報センターから  
③博物館通用口。一般入場できません。学校関係の下見や一部の行事のみで使用)

アクセス Osaka Metro御堂筋線「長居」3号出口→東へ800m  
JR阪和線「長居」→東へ1000m

- 自然史博物館ホームページ <https://www.omnh.jp/>  
観察会や子どもワークショップなどの情報満載。
- 自然史博物館友の会 会員募集中!<https://www.omnh.net/>



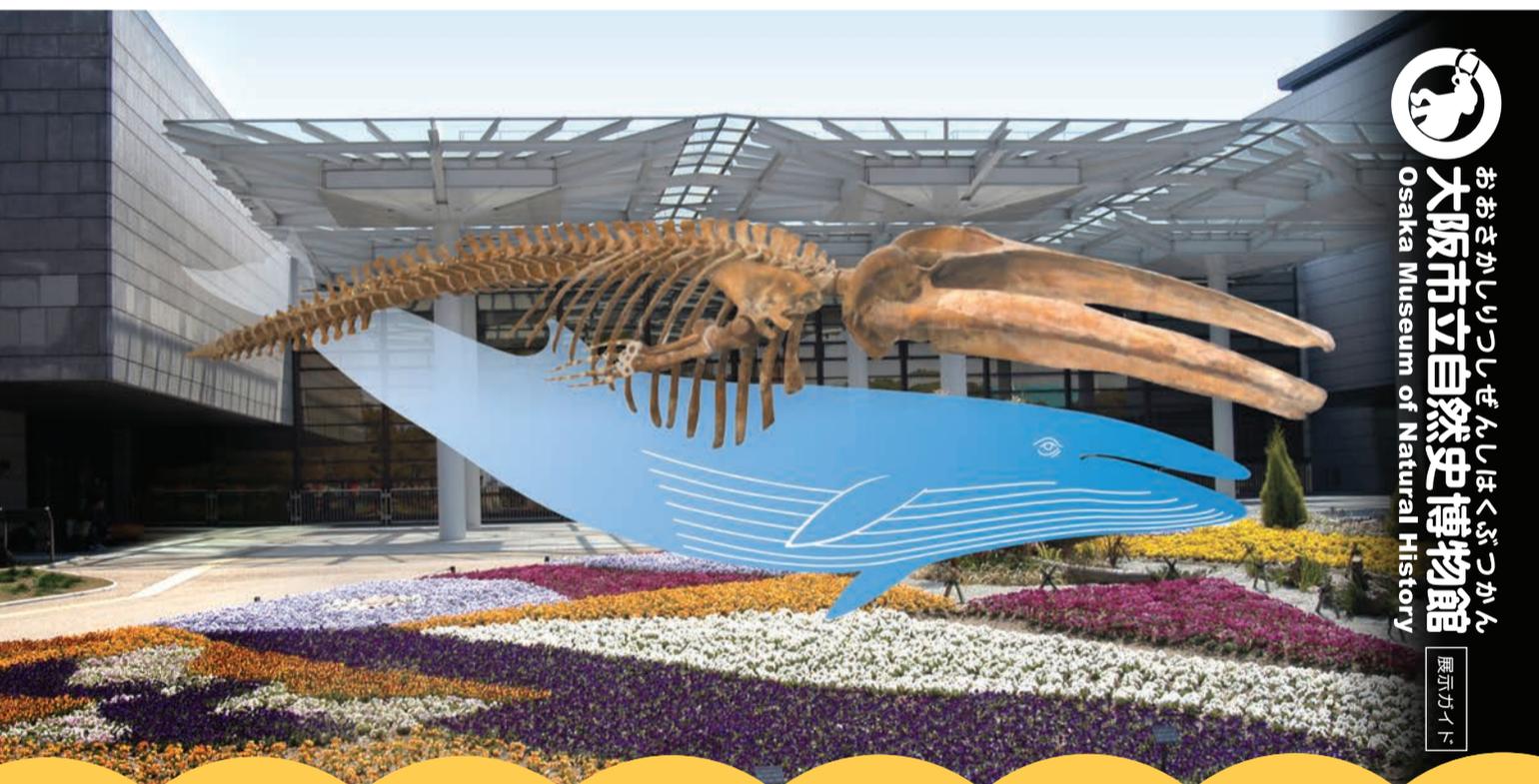
自然史博物館  
ホームページ

記念スタンプ



大阪市立自然史博物館

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23  
自然史博物館 06-6697-6221(代) / 長居植物園 06-6696-7117



おおさかしりつしぜんしはくぶつかん  
大阪市立自然史博物館  
Osaka Museum of Natural History  
展示サイト



自然史博物館へようこそ

「自然と人間」について考えてみよう

自然史博物館では「自然のしくみ」「自然の歴史」「人と自然の関わり」について展示・解説しています。また、野外での自然観察会や博物館内での講演会、ワークショップなど、年間150回を超える様々な行事を開催しています。私たちは、市民のみなさんが展示をご覧になり、観察会などへの参加を通じて自然に親しみ、自然を理解し、自然を大切にすることを育てていただければと願っています。

写真左 ナウマンゾウ

自然史博物館本館に入ると、大きなゾウがみなさんを出迎えます。博物館のシンボルマークにもなっているナウマンゾウの復元模型です。ナウマンゾウは、2万年前まで日本列島にすんでいたゾウで、日本の地質や化石を研究したエドムント・ナウマンにちなんで名付けられました。大阪平野の地下の地層から、ナウマンゾウの足跡や歯の化石が見つかっています。また、3万数千年前の地層からは、ヒトが作った石器が発見されています。その頃の大阪平野には、ナウマンゾウの群れを狩るヒトが暮らしていたことでしょう。大阪における、「自然とヒトの関わり」のはじまりと言えます。

表紙写真 ナガスケ(ナガスケジラ) 「ナガスケ」という名前は来館者の方からの公募で選ばれました。

この標本は、1990年4月8日堺泉北港に流れついた死体を、7年かかって骨格標本にしたものです。ナガスケジラは世界中の海にすんでいます。沖合を泳ぐことが多く、死体が流れついたり、陸に乗りあげたりした例はあまり多くありません。大阪の町は人工物でおおわれています。しかし、このナガスケジラは、大阪の海もクジラが泳ぐような大自然とつながっていることを、私たちに語りかけているようです。この骨格は全長19mあり、日本近海で採取され展示されているクジラ類では、最大の標本です。

# 大阪市立自然史博物館

1F

## ナウマンホール

大阪における人と自然のはじまり  
大阪における人の活動と自然  
地形図で見る大阪の変化

## 第1展示室

### 身近な自然

- 1 港で見つかる外来生物
- 2 都市の自然、町の自然
- 3 村の自然
- 4 里山の自然
- 5 照葉の森
- 6 失われゆく環境と生き物
- 7 大阪の林と昆虫
- 8 先史大阪人の食べ物
- 9 外来生物の影響
- 10 大阪湾と生物

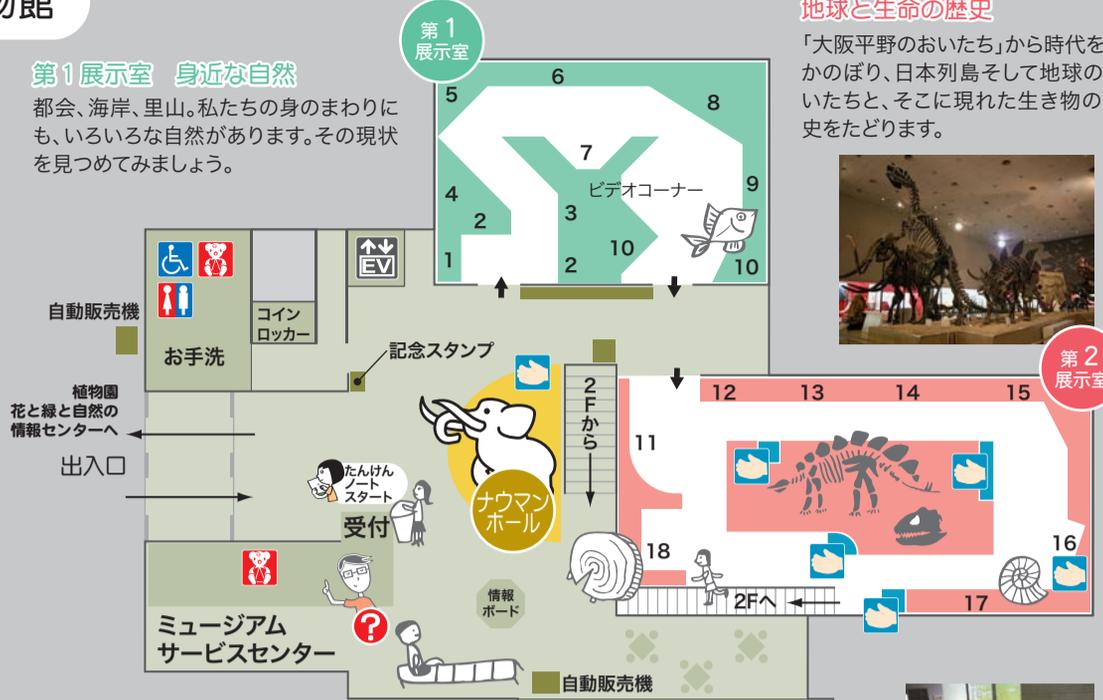
## 第2展示室

### 地球と生命の歴史

- 11 大阪平野のおいたち
- 12 大氷河時代
- 13 人類の時代
- 14 大阪層群
- 15 哺乳類の時代
- 16 和泉山脈
- 17 恐竜とアンモナイトの時代
- 18 古生代の海と森

## 第1展示室 身近な自然

都会、海岸、里山。私たちの身のまわりにも、いろいろな自然があります。その現状を見つめてみましょう。



## 第2展示室 地球と生命の歴史

「大阪平野のおいたち」から時代をさかのぼり、日本列島そして地球のおいたちと、そこに現れた生き物の歴史をたどります。



第2展示室

## ナウマンホール

「自然と人間」を基本テーマとする当館の展示の入口であり、「大阪における人と自然の関わり」について、展示しています。

## ミュージアムサービスセンター

本館の展示内容や自然についてのご質問、学校など団体利用についてのご相談など、お気軽にお声がけ下さい。



2F

## 第3展示室

### 生命の進化

- 19 種のたん生
- 20 すみ場所をひろげる
- 21 生物どうしのつながりと進化
- 22 地球は虫でいっぱい
- 23 ところ変われば虫変わる
- 24 海は生命のふるさと
- 25 わたしたちはどこから

## 第4展示室

### 自然のめぐみ

- 26 食用植物とそのふるさと
- ※第3展示室前の廊下で展示しています。

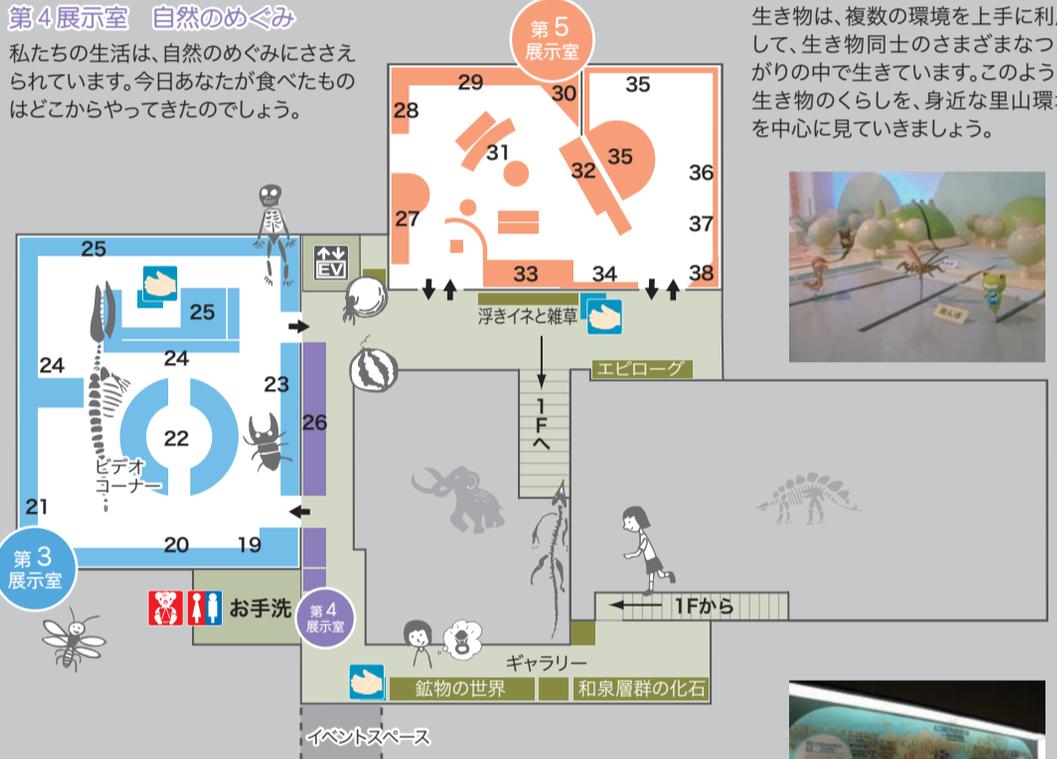
## 第5展示室

### 生き物のくらし

- 27 種が違えば、生き方も違う
- 28 果報は寝て待て
- 29 新天地を求めて
- 30 食う、食われる
- 31 取り合う関係
- 32 寄生と共生
- 33 三角関係
- 34 生き物がうみ出すすみ場所
- 35 さまざまな環境を行き来する生き物
- 36 さらに遠くへ旅する生き物
- 37 つながって成り立つ自然
- 38 人のくらしとの関わり

## 第4展示室 自然のめぐみ

私たちの生活は、自然のめぐみにささえられています。今日あなたが食べたものはどこからやってきたのでしょうか。



## 第5展示室 生き物のくらし

生き物は、複数の環境を上手に利用して、生き物同士のさまざまなつながりの中で生きています。このような生き物のくらしを、身近な里山環境を中心に見ていきましょう。



## 第3展示室 生命の進化

地球上は多様な生き物であふれています。さまざまな生き物の体のつくりやくらしから、その進化について考えます。



# 花と緑と自然の情報センター

1F

## ネイチャースクエア

### 大阪の自然誌

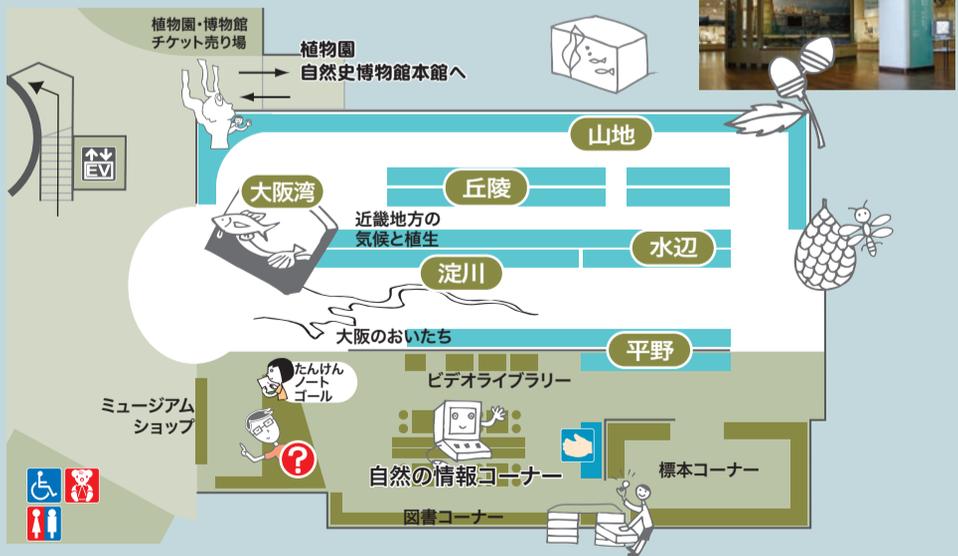
2F

## ネイチャーホール

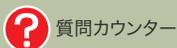
面積約700m<sup>2</sup>、天井高7mの大きな空間です。自然史博物館の特別展、イベントを開催します。

## 大阪の自然誌

大阪の海、川、平野、丘陵そして三方をとりまく山々について、そこで見られる生き物や地層、岩石を展示し、その地域の特徴を解説します。身のまわりの自然を見直し、自然について考えるきっかけとなる展示室です。



自然の情報コーナー 大阪の自然の情報についてコンピューターで検索できます。標本の名前を自分で調べられるよう、たくさんのお土産の標本を展示しています。図書も閲覧できます。学芸員が質問に答えたり、自然観察などの相談にのります。



こんな展示のたのしみ方もあります

展示室内にはこんなパネルもあります。さがしてみてください！



たんけんノート  
受付でもらえる用紙に書かれたテーマをもとに、博物館の中を探検しよう。

さわってみよう

実際に手でさわることができる展示です。



キッズパネル

ちいさなおともだちにもわかるようなやさしいかいせつだよ。



QRコード

QRコード機能のついた携帯電話で読み取ると展示の新たな情報が見られます。※WEBへアクセスするための通信料がかかります。

